

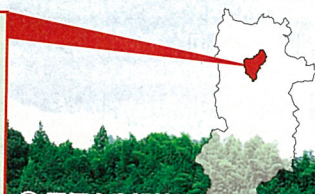
桜井市忍阪地区

いにしえの愛と 祈りが息づく 記紀万葉の古里

「其地より幸行して忍阪の大室に至りし時に」と『古事記』神武天皇東征の物語や、『日本書紀』にもその名が記される記紀万葉世界の古里、忍阪。

「この国の未来にかけて、このまま残ってほしい」。名高き万葉学者の故・犬養孝氏がこう称え、こよなく愛した忍阪の「奥の谷」は、舒明天皇陵など3つの墓がある王家の谷。いにしえの時そのままに、万葉びとの足音が聞こえてきそうな静かな山谷を訪れる人を万葉世界へと誘います。

谷から里への道すがらには記紀に伝わる「日本最古の悲恋物語」のヒロイン



- ① 忍坂坐生根神社
- ② 玉津島明神(産湯の井戸)
- ③ 石位寺
- ④ 舒明天皇陵
- ⑤ 万葉歌碑
- ⑥ 鏡皇女墓
- ⑦ 大伴皇女墓



にして絶世の美女、衣通姫を祀る玉津島明神や神武天皇ゆかりの巨石など、遙かな歴史の足跡が連なります。そんないくつもの伝承とロマンに彩られたこの里のシンボルともいえるのが、国内最古の「伝・薬師三尊石仏」。「この石仏に一目会いたい」と全国から多くの歴史ファンが訪れるという白鳳時代の傑作で、万葉歌人としてもひとときわ人気の高い額田王の念持仏とされています。ふんわり慈愛に満ちた表情は文豪・川端康成も「ほのほの温かな美少女」と評したほど。石仏は石位寺に安置され、里人たちが篤き心で守り継いでいます。



「伝・薬師三尊石仏」

慈愛に満ちた姿を額田王に重ねる人も、ひとり娘や愛しい人たちが眠る墓近くで、額田王は石仏に祈りつつ生涯を閉じたという説も。

※石仏がある石位寺は地区で管理するお寺のため、石仏拝観ご希望の方は下記へ拝観予約をお願いします。拝観時間:10時~16時。

☎桜井市観光課 ☎0744-42-9111(代)



犬養孝氏揮毫「鏡皇女の万葉歌碑」

一秋山の 樹の下隠り 逝く水の
われこそ益さめ 御思よりは—
奥の谷の小川のほとり、せせらぎの中にひっそりと建つ。

「忍阪の町並み」

神武天皇東征の地「忍阪」は、遙かなロマンが息づく記紀万葉の古里。集落の中央で、のぼりがはためく所が、高台にある石位寺。奥の山が、地区を見守る忍坂山。



「忍阪区自治会」

忍坂山をご神体とする忍坂坐生根神社に毎日交代で灯明をあげるなど、神社を大事に風土を守って、心をつにできたのがこの地の人々です。忍阪の魅力を多くの人に知ってもらおうと手作りで発売した三尊石仏・イメージソングや記紀万葉歌のDVDも好評です。

(談: 森本藤次 区長)

自治会ホームページ「忍阪の風」 [URL team-ossaka.jimdo.com/](http://url.team-ossaka.jimdo.com/)



「玉津島明神」

皇位を継ぐはずだった同母兄との禁断の恋は散り…。その美しさが衣を通して輝くほどだったという衣通姫ゆかりの「産湯の井戸」がある、玉津島明神。